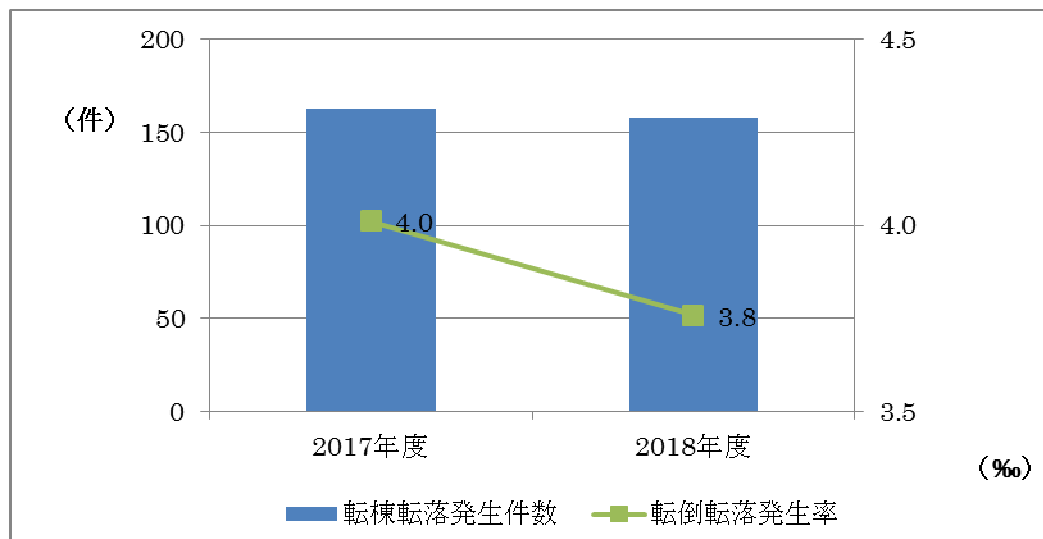


(4-a) 入院患者の転倒・転落発生件数・発生率

【指標の説明】

- ・近年の医療を取り巻く環境として、高齢者数や認知症患者さんが増加しており、転倒・転落発生が予測される患者数も増加しています。とりわけ、入院中は、入院生活という普段の生活環境の変化によるものや、病気そのもの、治療・手術・薬剤などの影響により、自宅にいる時以上に転倒や転落のリスクが高くなります。
- ・転倒や転落は骨折などの損傷に結びつく危険性が高く、病状の回復の遅れや日常生活の動作に支障が出るなど、患者さんの生活の質に大きな影響を及ぼします。転倒・転落を100%防止することは難しい現状ですが、発生件数や事例を追跡し分析を行うことで、転倒・転落による損傷の防止・発生減少に役立てております。

【転倒・転落発生件数・発生率】



【定義】

医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された
入院中の転倒・転落件数

入院延べ患者数

・グラフの単位 % (パーミル：1000分の1を1とする単位)